

已小だより

学校教育目標
すすんでやりぬく子ども
よく考える子ども
思いやりのある子ども
強くたくましい子ども

【第1号】 令和8年5月29日発行

深川市立一已小学校

校長 木村 一典

7年ぶりの紅白対抗運動会

先週21日の全校集会では、子どもたちに「おはようございます」の挨拶について考えてもらいました。当日、私はいつもより早い7時30分から校門に立ち、8時20分頃まで子どもたちを迎えました。普段であれば、私から「おはようございます」と声をかけていますが、この日は、あえて子どもたちから挨拶されるまで黙って待ち、挨拶をしてくれたら返すようにしました。

その結果、101人の子どもたちが、自分から進んで挨拶してくれました。集会では、「全校児童270人のうち、車で送ってもらうため私の前を通らない人もいますが、それを差し引いても、101人という数を多いと思いますか。それとも少ないと思いますか」と問いかけました。すると、「少ない……」とつぶやく声が、あちらこちらから聞こえてきました。そして今週は、進んで挨拶してくれる子どもたちが、明らかに増えています。子どもたちの気持ちのよい挨拶は、私にとって一日の始まりのエネルギーにもなっています。

百点満点のじー 相田 みつお

小学校の運動会

一年生の走りっこは50メートル

スタート係りの先生の

赤い旗がふられるたびに

お父さんやお母さん達の喚声が

山間(やまあい)の校庭にわきあがる

「わあー!」 うちの太郎は一着だ!」

「うちの花子は二着だ!」

一着だ、二着だ、と

順位をつけるのは大人達

つまり、自分では走らない傍観者

走っている当事者

子供達は

大人のつける順位などは

全く意識にない

ただひたすら走るだけ

いのちいっぱい走るだけ

いのち

いのちいっぱい走ることで

みんな百点満点なのだ

一着二着の順位はあるけど

一着も百点満点

二着も百点満点

そして

百点満点のビリなのだ

お釈迦さまはいいました

「すべての人間は

みんな仏さまの子だ」と

一人一人の人間には

それぞれに能力の差はあるけれど

いのちの尊さは同じだからです

どんな人のいのちでも

平等に百点満点に

尊いからです



『あきらめないで みんなで正々堂々最後まで戦おう!』

これは、今年の運動会テーマです。さかのぼること令和元年の「仲間と団結し勝利をつかめ! 令和最初の大運動会」以来、紅白対抗戦を意識したテーマとなりました。過去5年間のテーマを振り返ると、「楽しむ」「思い出」などの言葉が散りばめられ、公開体育的な要素の強いものでした。テーマは毎年、児童会が中心となって決定します。子どもたちにとっても、「今年は勝負を意識した熱い運動会にするぞ!」という意気込みが感じられます。もちろん、勝利を目指して戦うことは、運動会の数ある目標の一つにすぎません。運動会を通して育みたい力は、ほかにもたくさんあります。例えば、本校の伝統である「ソーラン節」では、上級生が下級生に教えるよさがあります。また、第1部では3年生のリーダーシップを、第2部では6年生の最高学年としての自覚を育むなど、さまざまな教育的なねらいがあります。

最後に、今月の学校だよりで紹介した、相田みつおさんの詩について触れます。「百点満点」と「ビリ」という、一見不釣り合いな言葉の組み合わせが、私はとても好きです。特に1年生の保護者の皆様には、運動会前夜にもう一度この詩を読んでいただき、当日は、お子さんの初舞台を温かく見守っていただければ幸いです。



歩いて 歩いて 歩いて

5月1日、青空の中、元気に学校を出発した子どもたち。それぞれの目的地では、体を存分に動かしてスポーツをしたり、ゲームをしたり、また、生き物を捕まえたりしながら、思い思いに、そして帰りのことは考えず遠足を楽しみました。帰り道では、長蛇の列になるなど疲れ切った学年もあるようでしたが、無事に遠足を終えました。

よろしく願います

5月18日、19日、22日にそれぞれ2学年ずつ、北新小学校との交流授業が行われました。その目的は、来年度の統合を見据え、お互いの学校の雰囲気・環境になれることです。4時間目は、自己紹介やゲームを行う中で交流を深め、その後は、給食の時間を一緒に楽しみました。交流授業の2回目は10月を予定していますが、今から楽しみにしている児童がたくさんいるようです。



今後は楽しみです

市の農政課やJA北空知、未来ファームの方々にご協力いただき、5月12日に「じゃがいも植え(4年生)」、18日に「田植え(5年生)」、28日に「大豆の種まき(6年生)」を実施しました。秋の収穫が今から楽しみです。この体験学習をとおして、子どもたちは深川市の産業を学ぶ(知る)ことだけにとどまらず、深川市への愛着や強い思い、誇りへとつながるはずです。

継承

右の写真は運動会で披露するソーラン節の練習風景です。6年生が1年生を指導しています。



このように本校のソーラン節は次の学年へしっかりと引き継がれているのです。

一已小を支援！

昨年度同様、5月8日から今川直子さんが教員業務支援員として勤務しています。業務内容は、本校職員へのサポートとなります。このサポートは、児童の教育活動を支えることにつながります。

6月の主な行事予定

1日(月)	B5日課	教育相談(～19日)	児童会活動日
2日(火)	安全点検日	交通安全指導日	
3日(水)	B日課		
5日(金)	B5日課(6年生のみB6)	運動会前日準備	
6日(土)	運動会 ※予備日7日		
10日(水)	C5日課		
15日(月)	B日課	全校集会	クラブ活動
16日(火)	内科検診(1・2年生)	水泳学習(6年生)	
17日(水)	C5日課	避難訓練	放課後教室(4～6年生)
18日(木)	B日課		
19日(金)	内科検診(5・6年生)	学習旅行(3・4年生)	
22日(月)	B日課	児童会活動日	
23日(火)	内科検診(3・4年生)	水泳学習(6年生)	
24日(水)	B日課	クラブ活動	放課後教室(1～3年生)
25日(木)	B5日課		
26日(金)	前期教材費引き落とし	水泳学習(5年)	
29日(月)	2・4・6年参観・学級懇談	B5日課	
30日(火)	1・3・5年参観・学級懇談	B5日課	
	1・2年生読み聞かせ(小小連携事業)		

自律的な学びへ

本年度、一已中学校区の小・中学生が「家庭学習について見直す機会」として家庭学習習慣づくりウィークを年4回設定しました。先日配付しましたプリントに記載のとおり、1回目は5月30日～6月5日です。保護者の皆様におかれましてはお子様が家庭学習に集中して取り組める学習環境づくりや「がんばりシート」(本日配付)への記入等、ご協力をお願いいたします。